國忠侠勇傳
定次郎
二冊
上
下
九鉄板

國定忠次
俠勇傳
二冊
上
九鉄板

國定忠次俠勇傳上の巻

柳水亭種清　省録

上野國群馬郡國定村の忠助とゝいふものあり性質勇直にして家貧しくして父母を養ふ孝子なり身長くして六尺餘の大男にして力強く肥満して人物交わるべきに人物交わるべきにあらず相撲をこのみ力のつよき年長ずるにしたがひて暴恣放慢ふしだらにして角口ばかりいひて喧嘩を好みこれを喧嘩の仲間にこれを頼ものとなしこれを同盟の朋友となしこれを頼みとなしこれを頼みとなしこれを頼みと

笠河村孝子弁助
岩四の頭領
國定忠次
大佛小八

日本
勝願寺の所化
閻魔の玄哲
釈迦十藏
大久保一角

[illegible]

[illegible]

[illegible]

忠次
義侠傳助

陸目早助

小猫伝吉とゝのふ月のそうりゐひとりの
四郎兵衛目平助とゝふ

▲あのゆく先は南国深沢矢辺八郎兵
衛殿そうとゝ白状さ仮て右決ハて
大伴小八郎殿ハ仲間の関雲
丑松平気の兵庭福治九郎助丈
鉄の仁八郎のゝ和このゝ人を次上

猫石カラ助
格目平助

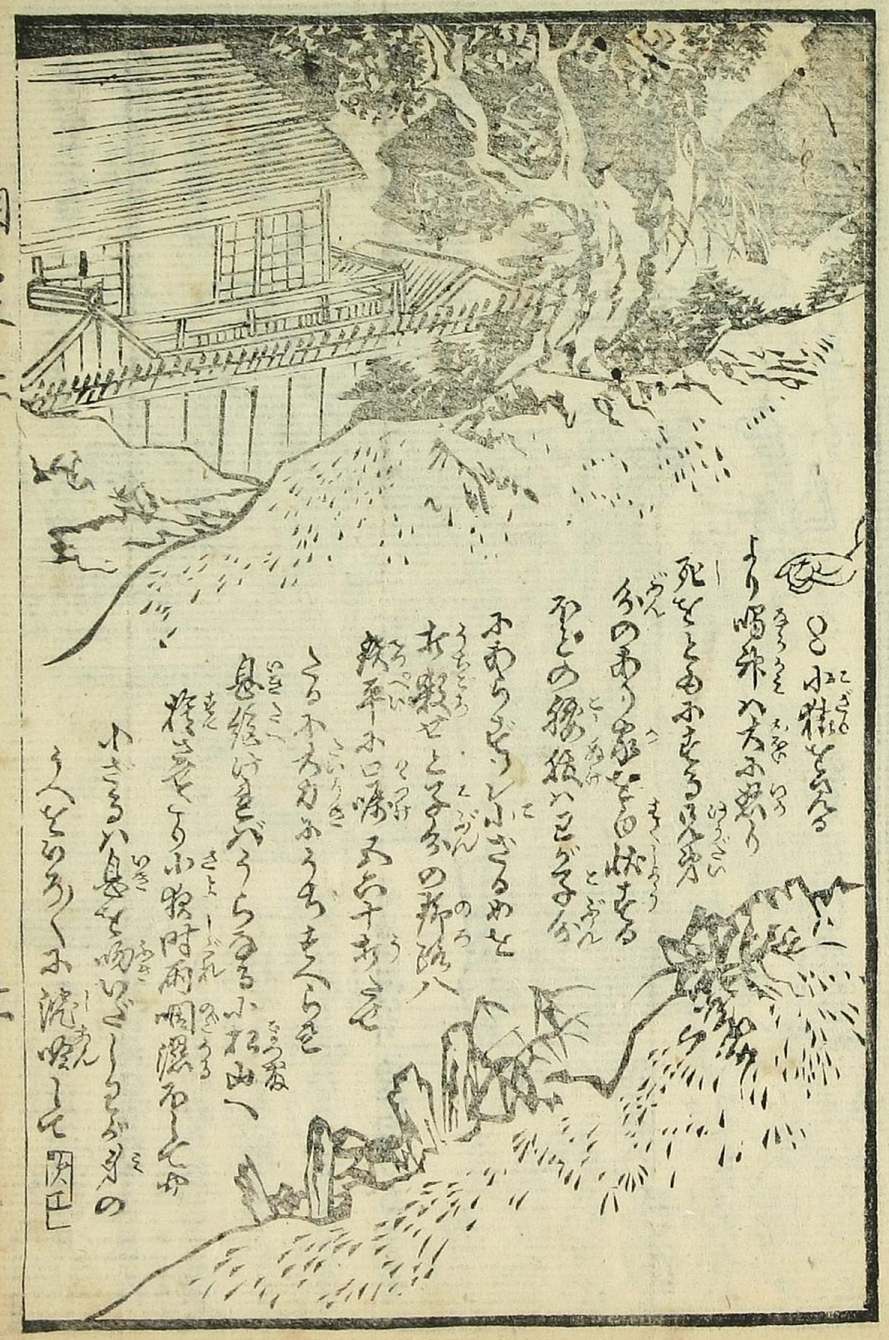
太次

○円覚水法ふ
小川伝左衛門

ふるものの
歌ひ
家わ服あ
人ゑ者
ふ郡中
一の美人な
りとふ又
ゑ丸さ
娘人乃面
雪庵
する
もの
ありて

○弘化三丙午のとし六月五日より
毛年六次次ぶ文毋の年回ふ弟ゑて
以て香死院あてとの弔れと
鄭重執行つゝいて田宮村ならびに
寿施りをんとてふふ委任て左の文
都とゑらべさてゑふ田宮村ハ戸ゑ二
百五十間余ゑ人二百七十人あり国て左ハ
衣類渚ハ米ゑ花ゑ拂ゑて一人あふ
米三斗 麻三百文 ぞうどこーまい
ふふ紙掛りの巻物のもの八合
米三斗ふ米ゑ弘俵と施ふよう
代付の米價一斗が
二百五十四文なり

若子
左島雪亀



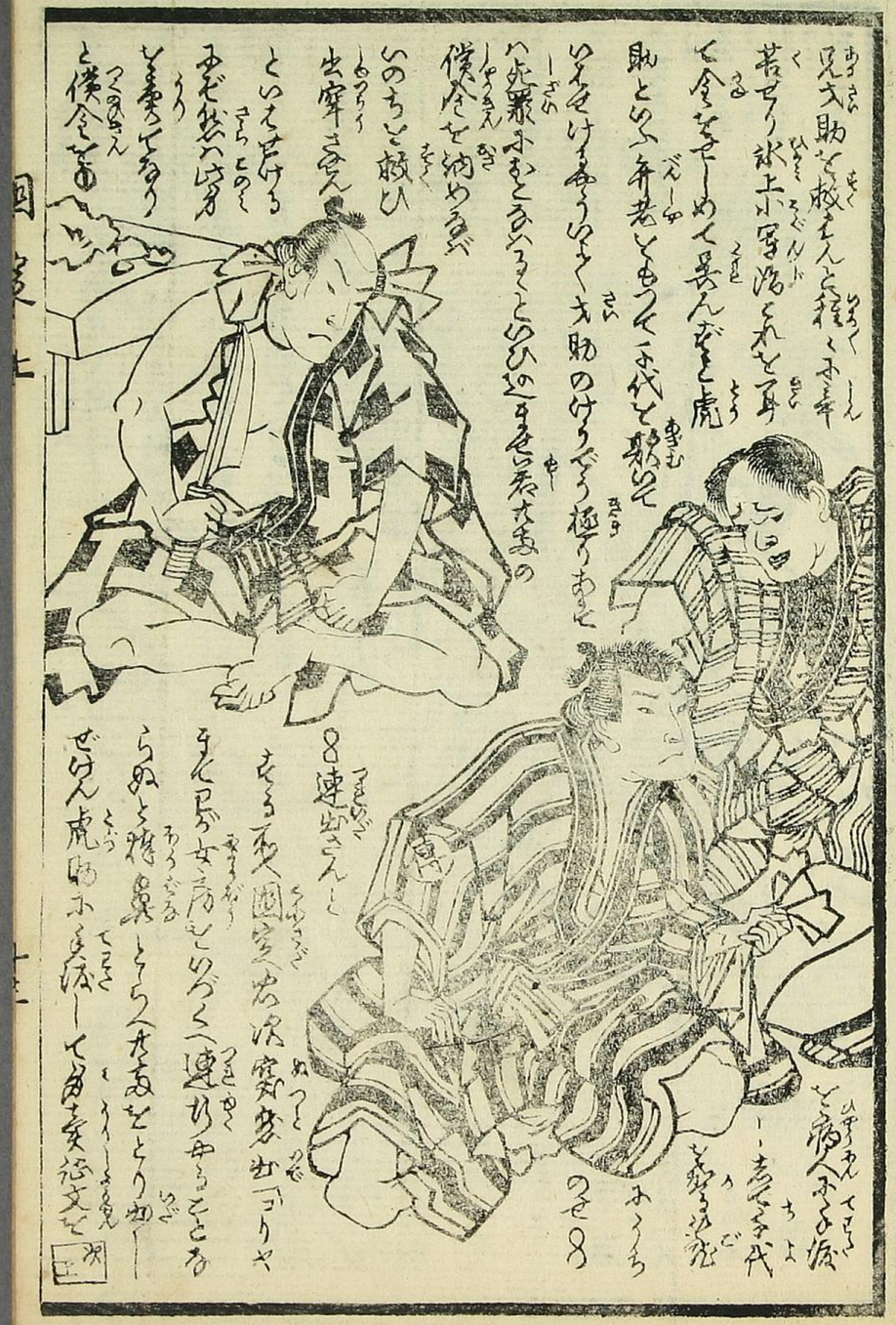

つづき
耐くるしく起て家ゝ迄ゝ送ゝ来ると国ゝ米吉が
あけまび迄上ゝ迄国ゝ氷上ゝ紙ゆきゝ氷上ゝ
即事ゝ
弐助と
挿へ
三色
目
代郎の仮
穿ゝ
ごり爻
八丈
おちよ
弐助と成ちんと程くゝ
若ゝり氷上ゝ穿ゝ
ゝ金ゝ
助とゆゝ弁老ともゝ
いのちをけ
八丈兼ゝ
ゝ連出さん
僕ゝを納めゝ
いのちと成ひ
出産さん
とゝいゝ
ゝ

図 多度ー虎助弓を逸ー
を大きな魚の海へ連れ
出ぞ出雲さてやらん第一ぞ
解さらで弓を引き国宝の太次郎
何者かあり けん氷
上の中きを入り
虎助の鼻を
刺ぎ穿因の
弓助をー
九百あの金を
奪ひ取
教師を
殺らど

図 こまを拾く
氷上への筏を
大きな魚がめう
りのものと結
う新米を盗
仏村の太郎
雷与うこと
つうもー
大きな
をえ一ん
とうふ
図

破邦ー
ぐくも
ら
ものあり
ものを
ら
ぞ

図 紫魚つい元と
えげのハーく岩
大石年人へ形
ひを大きな魚
をもの蔵ぞ
氷上より
ーく
ら
ようてろこけば
ものを氷上へ称合
を氷を氷を
ぐくをおとろくそれぬ
○それハ猪鹿とふまて氷沢
図

宰後虎助

國定忠次

一賊牢を破つて
大助を撲たけ
虎助が耳を剥

つぎこうくみ〜
あやり
所長の長上、
はきまぎと絶近
罵り喝采
平太人の者
ぶち殺さんとける
時ヤ行て
三度

○小猿伝吉
後平太
姉をみて
一刀うちころ
さもこの恨と報ふ
次工

010190517506

○小栗判官一代記　六冊
○於古代源之丞一代記　四冊
○由井正雪一代記　四冊
○天下茶屋敵討物語　四冊
○日蓮聖人御一代記　三冊
○宮本武藏一代記　二冊
○德川天一坊一代記　二冊
○箱根權現　蹇仇討　二冊
○佐倉宗吾一代記　一冊
○清盛一代記　一冊
○假名手本忠臣藏　一冊
○同　二冊
○算法教授書　一冊

○大久保武藏鑑　二冊
○於染久松一代記　二冊
○彦山權現　二冊
○八百屋お七一代記　二冊
○朝顏日記
○景清一代記　四冊
○新作地口集　一冊
○西國觀音靈驗記　一冊
○伊賀越敵討物語　一冊
○新作なぞ〳〵合　一冊
○德川武勇傳　六冊

東京　日本橋通三丁目十三番地
丸屋小林鐵次郎板

東京繪入新聞兩文社紙型鉛版兼印刷

下

A513
2上

國定忠次俠勇傳下の巻

柳水亭 種清 省録

○

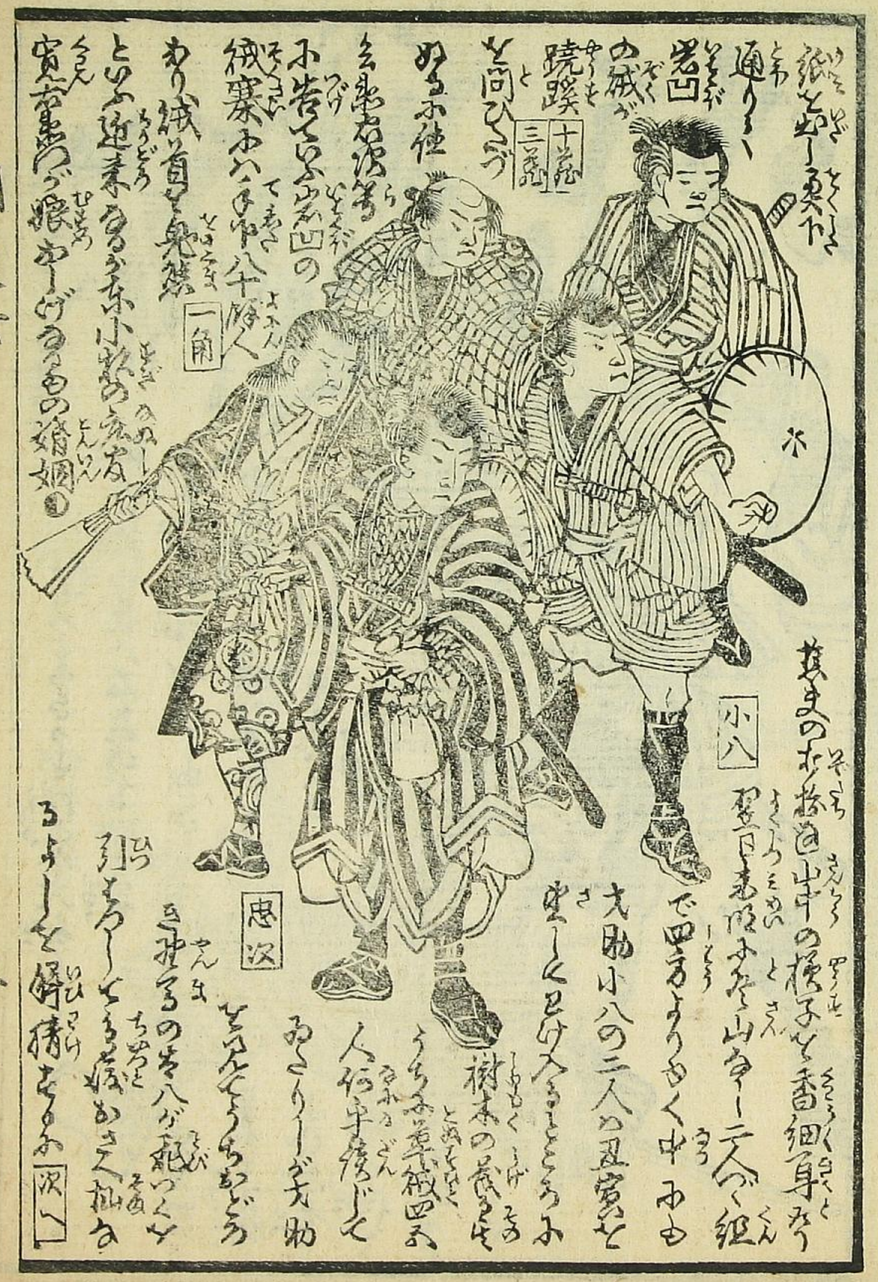
上の巻に山継きに出石山といふ所あり其寨に数百の山賊栖て近郷の百姓を悩ませり一人の青年ありて其人の名を問ふに答へて曰ふ我は是上州の国定村の生れ忠次と名乗る者なり

48-8701

岩四の紙

音吉

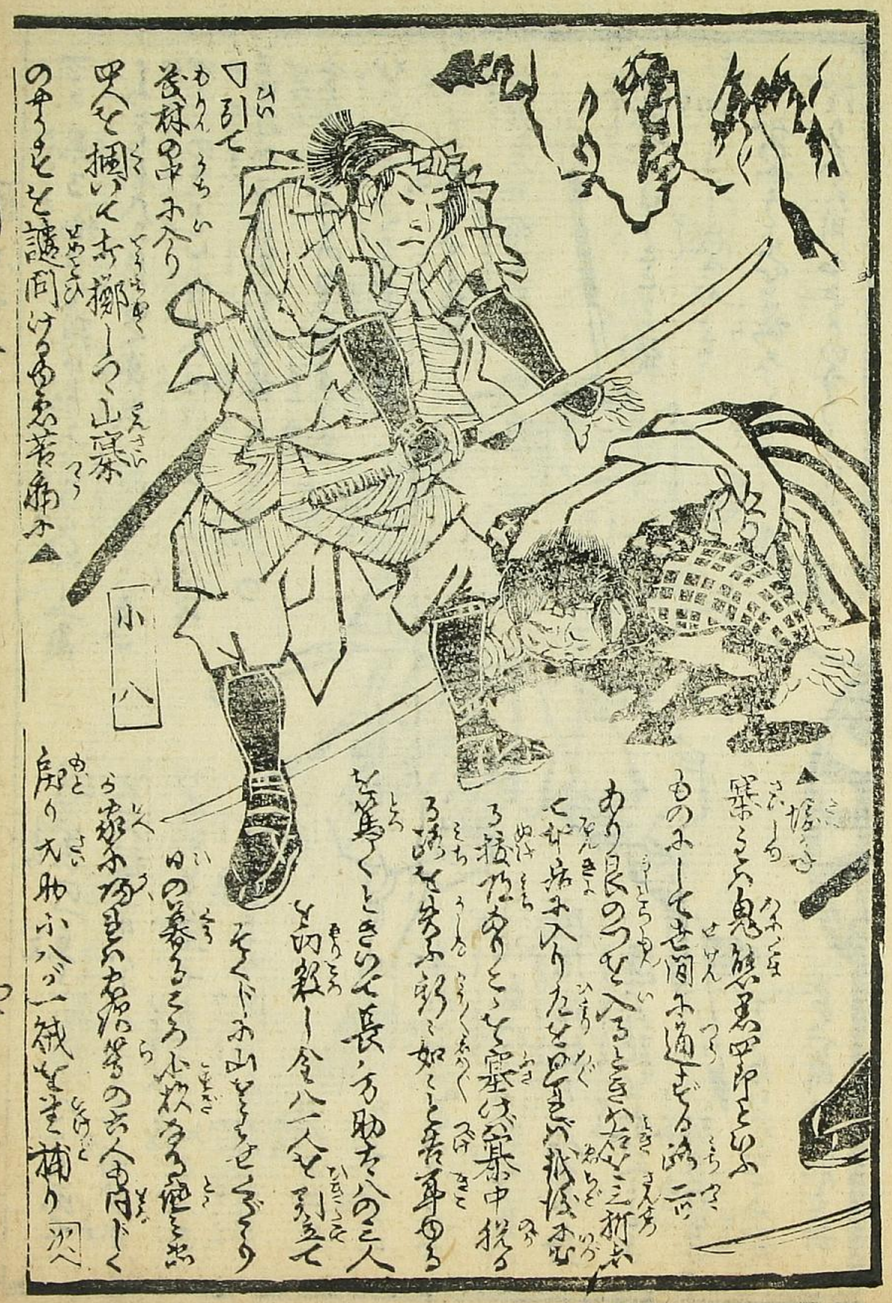
大助
丑松
音吉
平右衛門
編屋


十郎
三郎
小八
忠次

ちろくもきうを捉の金八を生きと
縛ゞ縄の長八不意の方助を右
手を羅んとひしゆくを捕
小八雄毒り長八方助を投
付まべ8

大助

8九助い
手を生を捕
小八雄毒
と捉と
生捕り

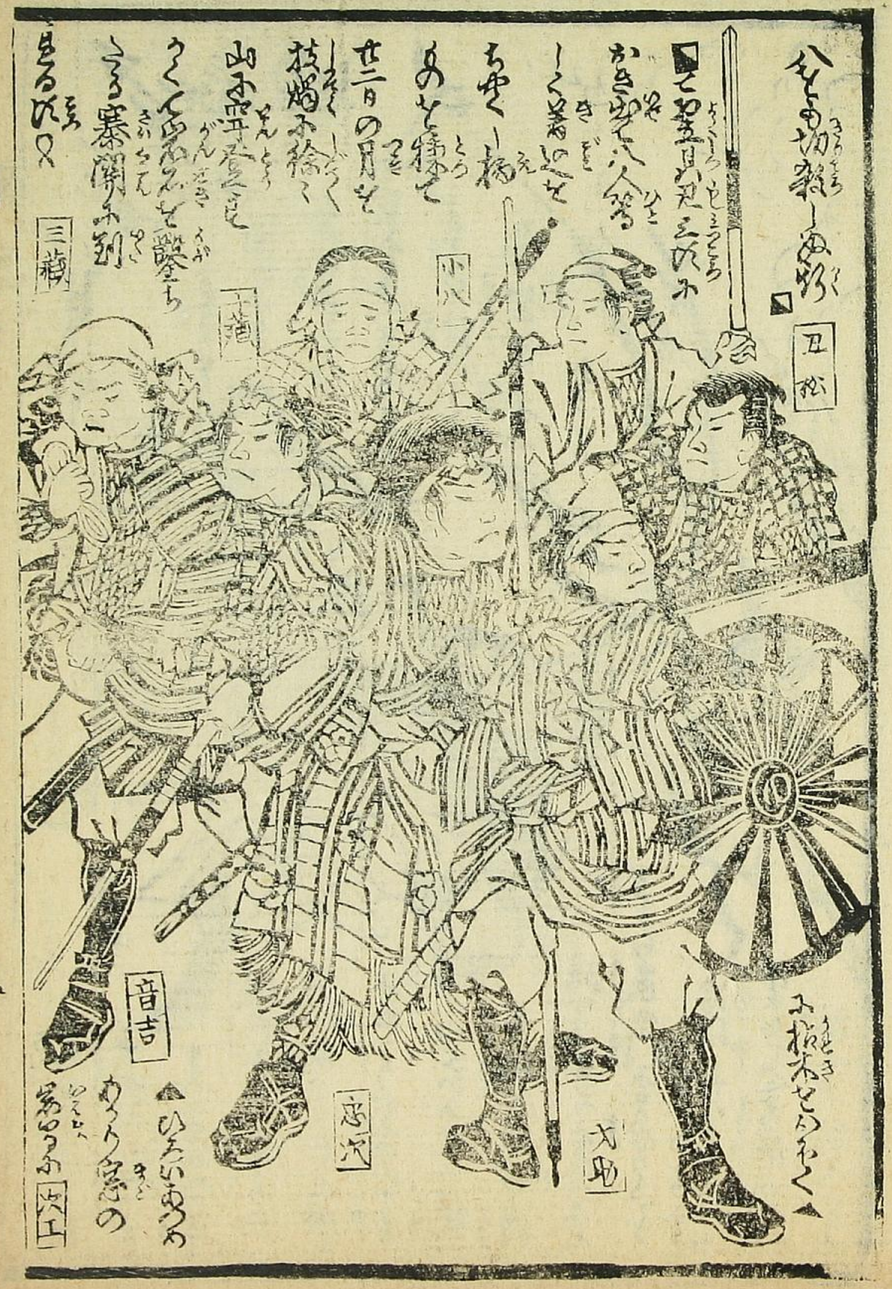


引て
茂林の中お入り
男を掴いて投擲しつゝ山寨
の中ゝを護問けるを表者弟子

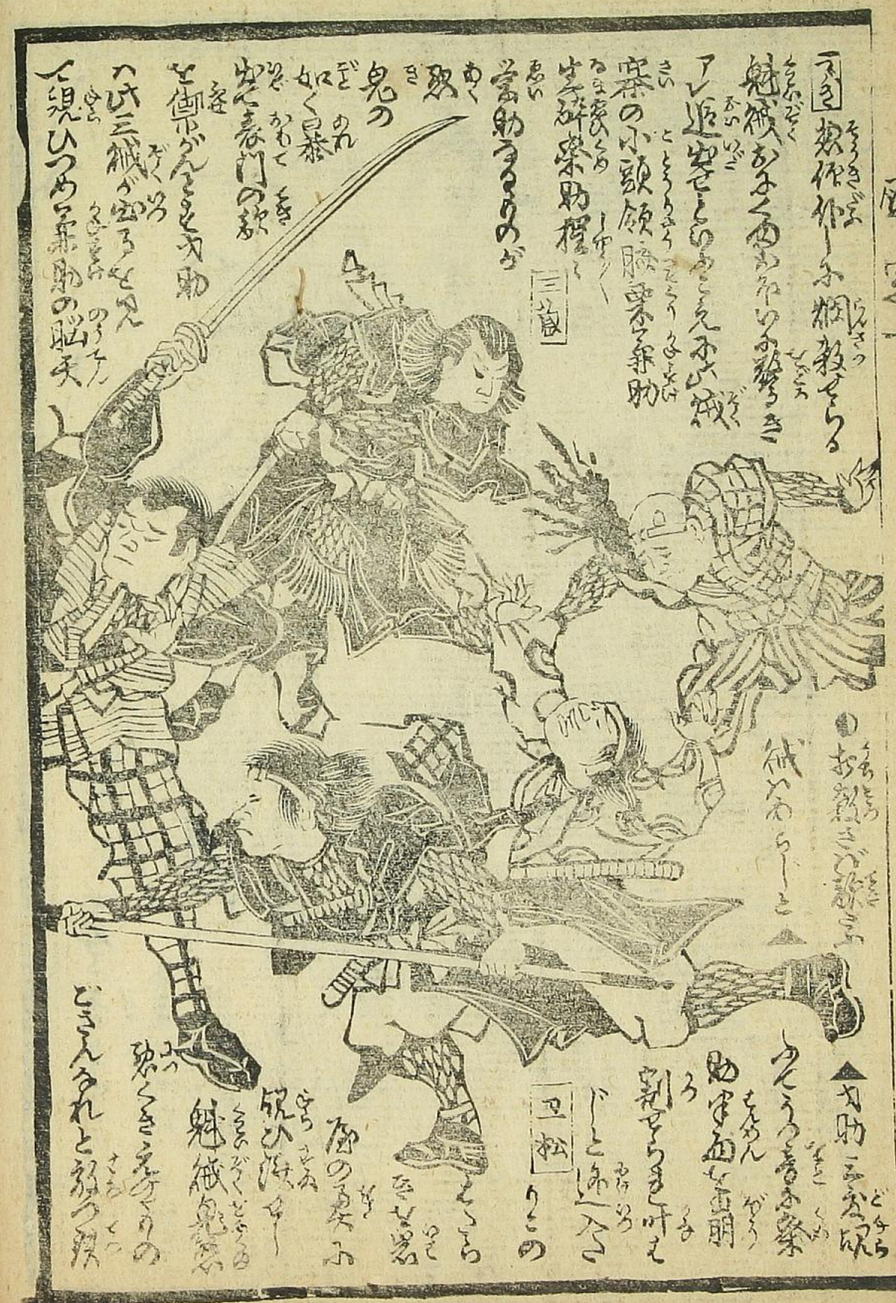
小八

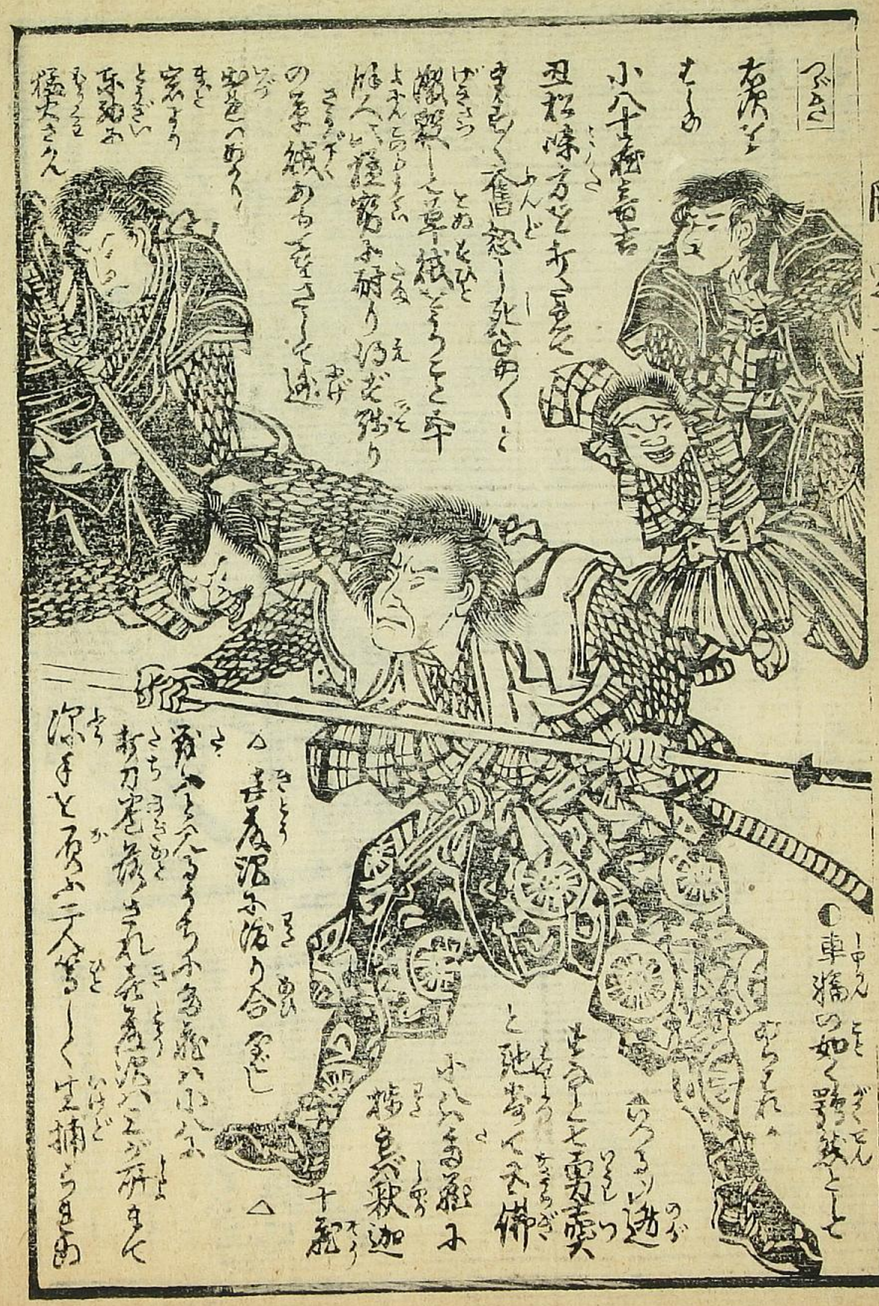
▲捕ふ
縛ゝ鬼熊男中とゆふ
ものゝ手を間お通ゞる為二
あり眼のつを入るとき大石ゝ三折お
こせ石お入りたをのきべ抜拔お
ろ接ゞ方とを寨ゞ寨中投
ろ為を為ふ如ゝ者事ゆる
を為くときの長方助を八の二人
を刺殺し金八一人を引立て
そゝゞお山をを
ゆの養るゝろ小枕ゝ為を
ら家ふ方男を為ゝ者の方人を内ゞく
刷り方助ふ八ゞ一紙を捕り

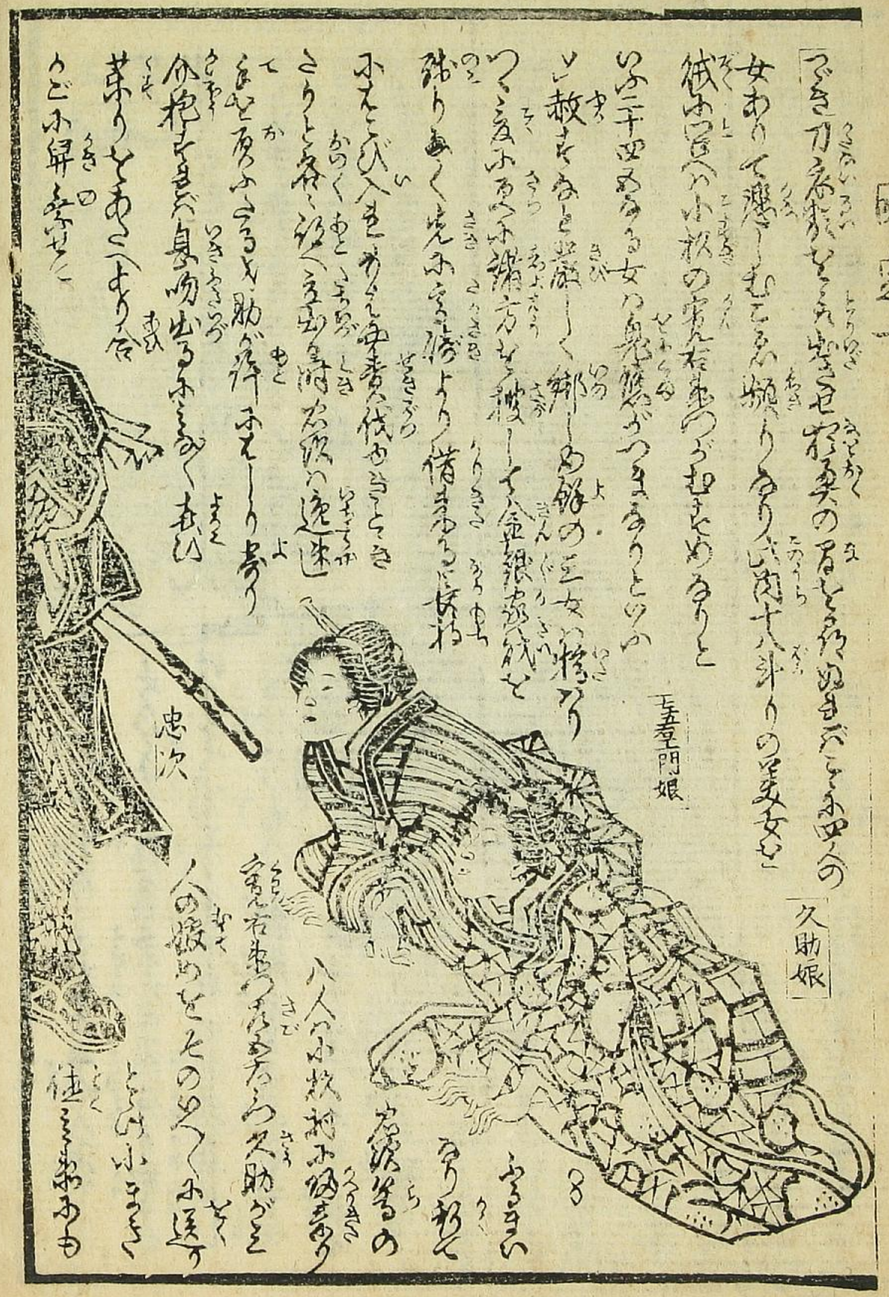
一角


五松
小八
音吉
文也

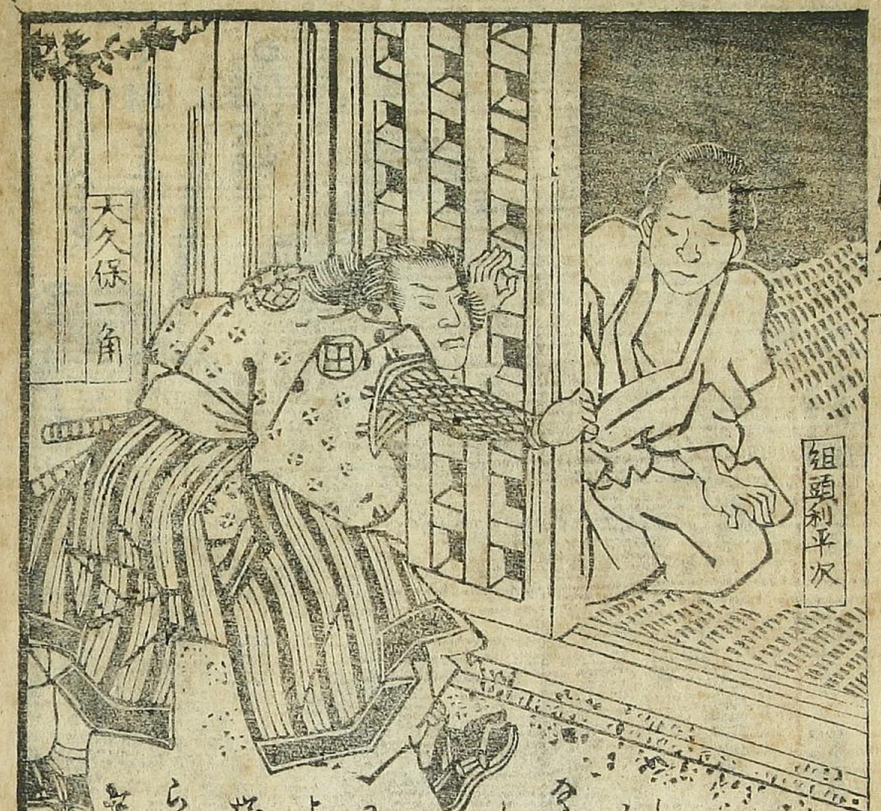
下助
次工
条助
兼助






久助娘
五左衛門娘
忠次

十郎小八郎を
を縛せ三女と
五左衛門娘
鬼賊婦人


大久保一角
組頭利平次

大佛小八
青の三蔵

一角
三蔵
奉願主
納
芳春
小八

加ひ
次五

一角
小八
十蔵
三郎

一角が拔図の川
辺不おまる

忠次
玄哲

天福寺

小猪伝次

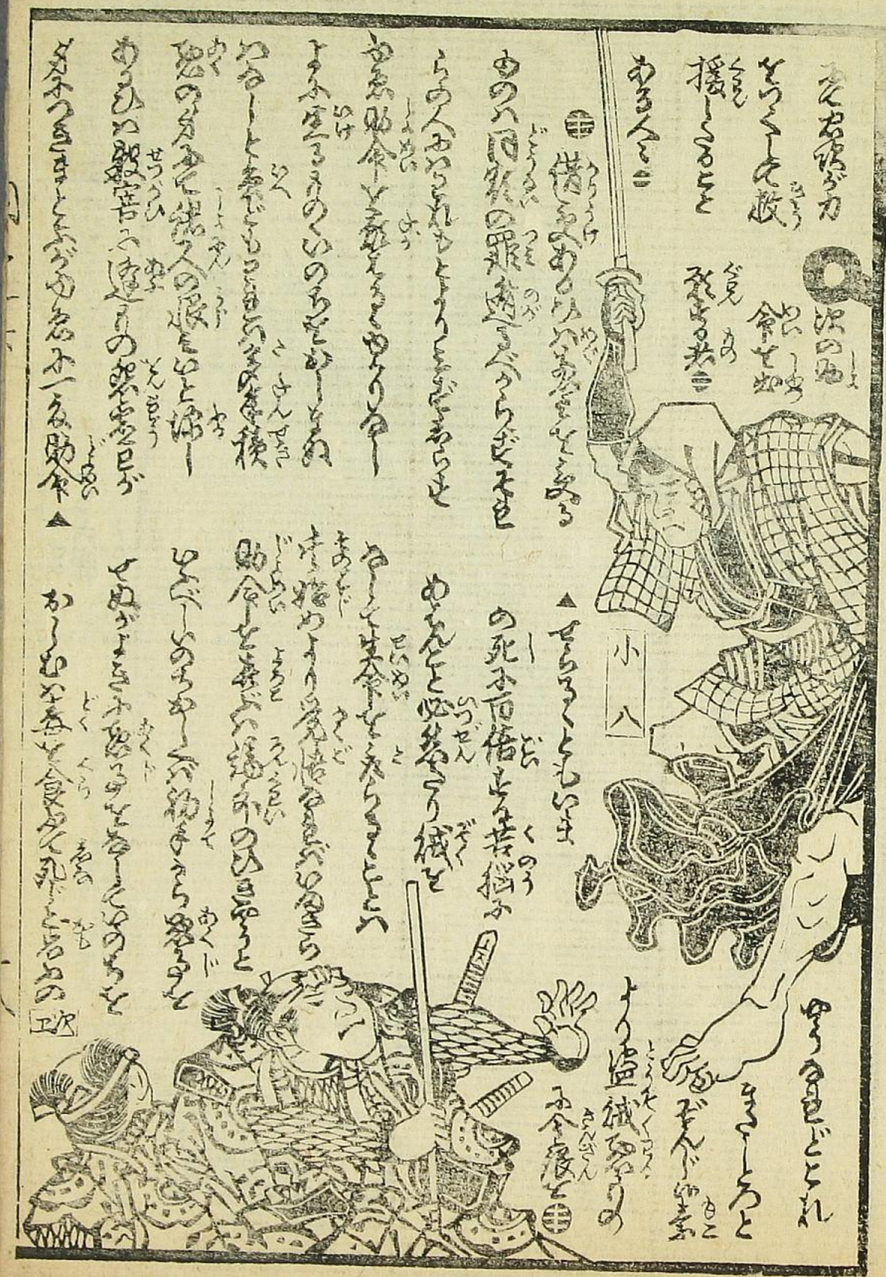
釈迦十蔵

[illegible]

[illegible]

[illegible]

玄哲
丑松


小八

010190517514

芝区愛宕下町二丁目三番地　編輯　櫻澤堂山

○小栗判官一代記	六冊	○大久保武藏鑑	二冊
○於古代源之丞一代記	四冊	○於染久松一代記	二冊
○由井正雪一代記	四冊	○彦山權現	二冊
○天下茶屋敵討物語	四冊	○八百屋お七一代記	二冊
○日蓮聖人御一代記	三冊	○朝顔日記	
○宮本武藏一代記	二冊	○景清一代記	四冊
○德川天一坊一代記	二冊	○新作地口集	一冊
○箱根權現鼇仇討	二冊	○西國觀音靈驗記	一冊
○佐倉宗吾一代記	一冊	○伊賀越敵討物語	一冊
○清盛一代記	一冊	○新作なぞ〳〵合	一冊
○假名手本忠臣藏	一冊	○德川武勇傳	六冊
○同	二冊		
○算法教授書	一冊		

東京　日本橋通三丁目十三番地
丸屋　小林鐵次郎板

印刷　鉛版印刷　紙型　紙社　文明堂